



会長 岩 淵 正 彦
 幹事 高 橋 利 光
 会報 江 川 元 徳 清 水 健
 猪 股 育 夫 村 上 武 彦

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2540回例会 2016. 3. 10 No.34

本日の出席率

・本日の出席率 72.73%

ニコニコボックス

- 岩淵正彦会長 みなさん、こんにちは。明日3月11日は5年前に東日本大震災が起きた日です。ともすると忘れがちですが、3月11日となりますと想い出します。御冥福をお祈りします。今日のスピーカーは三浦孝次郎会員です。拝聴いたします。
- 菅野幸一郎会員 家内の誕生日に会長よりきれいなお花を頂き、ありがとうございました。本日のスピーカー三浦孝次郎会員にご期待します。
- 阿部泰彦会員 先日の南方仮設住宅での大野俊三さんトランペット支援コンサートにご出席いただいた布施孝之会員はじめ会員の皆さんご苦労様、ありがとうございました。今晩は登米・南三陸フェスティバルで、吉武大地さん達の支援コンサート、有名メンバーが7人出演します。午後5時30分よりです。4月23日(土)、24日(日)東北風土マラソン&フェスティバル開催です。よろしくお祈りします。三浦孝次郎会員のスピーチに期待して!
- 八谷郁夫会員 ご来訪の沼田仁五郎会員(盛岡中央RC)を歓迎して。台北西門RC訪問の皆様ご苦労様です。お気を付けて。
- 三浦孝次郎会員 本日のスピーチ期待しないでください。
- 猪股育夫会員 三浦孝次郎会員のスピーチ宜しくお願いします。3月13日~17日訪台して来ます。去年の様に寒くないといいますが。
- 佐藤早智子会員 台北西門ロータリークラブの式典。初めての訪台なので楽しみに行きます。
- 鈴木彦太会員 三浦孝次郎会員は経験の豊富な方です。スピーチ楽しみにお聞きします。台北西門扶

- 輪社の方々に何卒宜しくの程。
- ・布施孝之会員 三浦孝次郎会員の久々のスピーチに期待して。
 - ・飯塚仁哉会員 ゴルフの女子プロにパートナー好感度No.1と言われた三浦幸次郎会員のスピーチ、楽しく拝聴させていただきますよ。
 - ・佐藤幸一会員 三浦孝次郎会員のスピーチ、大いに期待いたします。
 - ・菅原文之会員 三浦幸次郎会員のスピーチに期待。
 - ・佐藤静市会員 三浦孝次郎会員のスピーチを歓迎します。
 - ・高橋義文会員 本日の三浦幸次郎会員のスピーチを楽しみに期待致します。
 - ・及川富男会員 三浦孝次郎会員のスピーチに期待しています。
 - ・高橋利光幹事以下 三浦孝次郎会員のスピーチに期待して。
 村上武彦会員 山田直志会員 遠藤光則会員
 佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 小泉洋会員
 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 大畑好司会員 千葉正宏会員 加藤亮会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 岩淵正彦会長

明日3月11日は、5年前大震災が発生し大きな被害を受け、多くの人命や家屋などが消失しました。まだまだ復興には程遠いようです。亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りしたいと思います。

3月13日(日)から会員皆様を代表して総勢14名で台北西門ロータリークラブを訪問し、創立39周年のお祝いをして来たいと思います。3月17日(木)の夜、仙台空港に帰って来ます。17日(木)の例会は欠席となりますので、次期幹事の菅原慶一会員、よろしくお祈りします。

幹事報告 高橋利光幹事

- ・ガバナーエレクト事務所より
 地区協議会(4月17日)のプログラム及びアンケートが届く。
- ・登米市観光物産協会より
 観光王国みやぎおもてなし大賞「大賞」受賞のお祝いの会に出席したことに対するお礼状が届く。

◎壮行式(訪台団・14名)

・訪台団代表あいさつ(佐藤早智子姉妹クラブ委員長)
 3月13日(日)から3月17日(木)まで、西門RC創立39周年式典に参加してまいります。私ごとですが、女性は1人で心配していましたが、岩淵正彦会長の奥様も一緒ということで安心いたしました。今回は若い会員も参加いたします。又、強力な通訳、高橋義文会員も参加ですので心強く思っております。会からお饞別をいただき、ありがとうございました。友好を深めてまいります。



訪台団会員を代表してあいさつをする佐藤早智子姉妹クラブ委員長

今週のスピーチ

三浦孝次郎会員

私の職業は砕石業で、佐藤幸一会員と大体同じ様な職業です。佐藤幸一会員の方は化学的な砕石、私の方は工事基礎資材の砕石です。生コンの資材、ダム、港湾の石、高速道路等の資材を扱っております。

年間に大体25トン位の爆薬を使って石を採取し、機械にかけて販売しております。製造販売というような事業で、それを直径2m以上もあるタイヤのダンプに50トン、60トンも載せて輸送しております。そのタイヤ1本は軽自動車1台分もありますので、非常にハラハラしながら作業しております。この様なタイヤが1台に6本ついており、それが2台。それからホイールドロージャー、大体8トン位積めるバケットドロージャーですね、それが4~5台、山の頂上に登って石を採掘する40トンクラスの機械が3~4台あります。

当社の年間生産量は系列を併せて大体70万トン位です。毎年生産しております。私が何故東和町で砕石をしているかと言いますと、北上川沿岸は非常に資源が良いからです。この地区は海が隆起した所で推積岩と違って良質な石が取れます。又、その付近には石灰岩も良質で、地形的には非常に恵まれた所です。

登米市が地下資源が豊富だと言うことは前々から機会あるごとに皆様にお話しているところではありますが、登米市は地上では、農業も他の産業も分布しており恵

まれており、又、地下資源も恵まれた地域であります。宮城県では気仙沼市、登米市、石巻市、仙台市、岩沼市、名取市、丸森町、蔵王町の一部で地下資源があります。登米市では8ヶ所で採掘しており、その量は宮城県で採掘している1/3に当たります。良質な石ということで私共は仙台まで生コン用の材料を70kmかけて運搬しております。それだけこの地域が地下資源に恵まれています。勿論、当初石越、石森のように石の付く名称の産地があり、石越に関しましては鉄道バラスト即ち鉄道に敷く石を明治時代から東北本線に出しているという非常に歴史の古い地域です。以前は石越砕石場があり、そこから石越駅まで線路があり、その石をトロッコに積んで東北本線の沿線にバラストを列車が走る度に振動して沈むのを持ち上げるために敷きます。その産地が石越が最初です。現在は新幹線の高架橋が主体となりましたので、在来線のみでバラストを使用しているのですが、石越の方は資源が潤渇したため数年前から止めております。

石森に関しましては、石森の石も良質のため全国的に使われております。仙台の勾当台、県庁の前の石等はほとんど登米市から出た石です。それから間知ブロックといって昔の水路用のブロックですが、あれもほとんど登米市の石森から出ております。東日本大震災の時コンクリートで作ったブロックは潰れましたが、石垣で積んだ間知石はほとんどその原形を保っていました。そういった積む方法が今見直されています。ただ職人が高齢化し登米市では多分1人位しかいません。石は採れるのですが職人がいないので、岩手県や山形県の人々が化粧が主ですが間知石の作業をしています。登米町は東北天然スレート、歴史的な石が採れたところ。坑道を掘って石を採集して、あのようなきれいなスレートに加工しております。それも中国産の安い石材に太刀打ち出来なくなり、廃業するというのが現状です。いずれ、その様に地下資源に恵まれた土地柄であったと言うことは間違いのない訳であります。

どれだけ登米市で我々業界が生産しているかと言いますと、年間約260万トンの石を採集しております。1日に直しますと約1万トンの石材を加工して、生コン、アスコン、土木資材全てに供給しております。それにかかる運搬は大体1,000台の車輛が行き来しています。そのため経済的効力を非常にもたらしている訳で、燃料は砕石工事だけで年間320万ℓ、運搬車輛が使う軽油570万ℓで併せて890万ℓです。約900万ℓの油はドラム缶に換算しますと、約455,000本という数字になります。爆薬もほとんど毎日使います。登米市には火薬庫があります。火薬庫というのは大変な設備で管理が非常に難しく、以前は砕石場に火薬庫がありましたが経費があわないので販売店で買い毎日運搬しております。

携わっている従業員は270名位です。この様に登米市は如何に地下資源に恵まれながらバランスの良い地域であるかと言うことが分かります。

ある面では我々業界は自然破壊・環境問題をかかえておりますが、それをクリアし皆様にご理解を得ているところでもあります。